

一宮市立市民病院外科に通院中または過去に通院された患者
さんまたはご家族の方へ
外科における臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「当院における急性胆嚢炎に対する腹腔鏡下胆嚢垂全摘術」に関する臨床研究を実施しております。

このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	当院における急性胆のう炎に対する腹腔鏡下胆のう垂全摘術についての検討
所属（診療科）	外科
研究責任者（職名）	篠塚美有（医員）
研究実施期間	委員会実施承認日 ～ 令和 6 年 6 月 30 日
研究の意義・目的	高度の炎症を伴う急性胆のう炎に対しては、合併症軽減を目的に腹腔鏡下胆のう垂全摘術（胆のうを全て切除せず、一部を残して摘出する術式）を施行することがあります。しかしながら、この術式を適応する患者さんを術前に決定する方法は定まっていません。そこで、当院にて急性胆のう炎に対して腹腔鏡下胆のう摘出術を施行した患者さんを対象とし、中でも腹腔鏡下胆のう垂全摘術を施行した患者さんに特徴的な術前因子（採血検査結果や画像検査所見など）を検討します。この研究によって、急性胆のう炎に対して、腹腔鏡下胆のう垂全摘術を施行すべき患者さんを手術前に適切に判断できることが期待されます。
対象となる患者さん	2020年1月から2022年10月の間に、当院にて急性胆のう炎に対して腹腔鏡下手術を施行した患者さん
利用するカルテ情報	臨床所見、検査所見、手術所見、術後経過所見
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院 外科 〒491-8558 愛知県一宮市文京 2-2-22 電話：0586-71-1911 FAX：0586-71-1921